

Eグループの作品 E-Group with story(1/6)



あるところに大都会がありました。その大都会はビル、車、電車、看板であふれていました。煙があつて、空気も川もとても汚染されて汚かったのです。緑は何ひとつありませんでした。

E グループの作品 E-Group with story(2/6)



でも、不思議な力が、大昔からある何かの力が働いていたのです。そして、セメントとセメントの間から小さな芽が生えてきて、つぼみをつけました。それがフワッと咲いたところにキッコロちゃんがありました。キッコロは元気いっぱい、喜びいっぱいでした。でも、自分の周りの汚くて暗い街を見たとき、涙があふれてきました。

Eグループの作品 E-Group with story(3/6)



ドスン、ドスン、ドスン。キッコロちゃんの泣き声を聞いて、やってくる人がいました。それは、はるかかなたからやってきたモリゾーさんでした。キッコロちゃんを抱き上げて、「心配しないで。なんとかこれできるよ」と。モリゾーさんがビルを見つめながら、ウィンクすると、そこにある高いビルの半分ぐらいが大きな大きな木になりました。次は、散らばっていたごみや紙を拾って、折り紙のように花を折りました。すると、その花は本物の花になりました。

Eグループの作品 E-Group with story(4/6)



「やることは、まだまだいっぱいあるぞ」と、モリゾーさんは渋滞中の車に向かって口笛をビューッと吹きました。すると、車や電車がいろいろな動物に変身しました。トヨタがトラになりました。ホンダがhamsterになりました。ジャガーが、ジャガーになりました。「楽しそう！僕にも何かできるかなあ」とキッコロちゃんが言いました。

E グループの作品 E-Group with story(5/6)



キッコロちゃんは、黒くて汚い川に入っていました。川の汚れが全部キッコロちゃんの毛にくっついてきたので、あまりの汚さに、また泣きそうになりました。モリゾーさんは「ものごとを良くするという事は、痛い体験をすることもあるんだよ。でも、それを治すことができるよ。体をぶるぶるとふってみなさい。一生懸命にふってごらん」と言いました。キッコロちゃんは自分の毛をふって、ふって、汚い泥を落とすと、みんなかわいいお魚になって落ちていきました。その魚たちは幸せそうに川の水に飛び込みました。

Eグループの作品 E-Group with story(6/6)



「おじいちゃん、ありがとう」とキッコロちゃんが言いました。そして、その大都会に住んでいる人たちが出てきて、きれいになった街を見て、モリゾーさんとキッコロちゃんに「本当にありがとう」とみんなは言いました。おしまい。